

英語

東京大学（前期） 1/2

<全体分析>

試験時間

120分

解答形式

記述式とマーク式の併用。

分量・難易（前年比較） 分量（減少・**変化なし**・増加） 難易（易化・**変化なし**・難化）

出題の特徴

読解、リスニング、英作文、文法・語法の各分野から出題された。

その他トピックス

- ・ 1 (A)の指示文が、2016年度に続き「英文の要旨をまとめよ」だった。
- ・ 1 (B)は、2016年度の段落補充問題から変わり、文補充問題が出題された。
- ・ 3 (A)(B)(C)の設問が、従来の5問ずつの出題に戻った。なお、3 (A)(B)は、2017年度（2016年実施）の第2回東大即応オープン3 (A)(B)と同じテーマだった。

<大問分析>

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1 (A)	読解総合	「ビジネスにおける国民性論の危険性」 (363 words)	2016年度より取り組みやすくなった。本文の内容は比較的把握しやすいが、論点を取捨選択し制限字数以内で答案をまとめるのにやや苦勞する。 《出典》 Bradley Kirkman, Vas Taras, and Piers Steel, "Research: The Biggest Culture Gaps Are Within Countries, Not Between Them", <i>Harvard Business Review</i> , May 18, 2016	標準
1 (B)	読解総合	「裕福さと利己的行動に関係はあるか」 (770 words (本文 699 words + 選択肢 71 words))	2016年度と異なり、空所5箇所の文補充問題となった。ダミー選択肢は1つ。空所に単語を1語入れさせる記述問題も出題された。指示語などの手掛かりが豊富で、迷う箇所は少ない。 《出典》 Matthew Sweet, "Does Power Really Corrupt?", <i>1843</i> , June/July 2016	標準
2 (A)	英作文	「いま試験を受けているキャンパスに関して気づいたこと」 (60~80 words)	「いま試験を受けているキャンパスに関して気づいたこと」を1つ挙げるのは比較的容易だが、それについて60~80語の英語で説明するのはやや難しい。	標準
2 (B)	英作文	「祖父からの手紙への返信」 (60~80 words)	遺産をもらったなら何に使うか、それはなぜかを書くことが求められている。	標準
3 (A)	聞き取り	「コンピュータの最新の能力」 (496 words)	(7)の正解は d) しかないが、too many possibilities...!は本文の内容を正確に反映しているとは言えない。 the <u>least</u> appropriate title を選ぶ質問が出題された。	標準
3 (B)	聞き取り	(A)に関する討論 (507 words)	3名による討論。比較的素直な出題であった。	標準

英語

東京大学（前期） 2/2

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
3(C)	聞き取り	「ナイジェリア出身の作家による姉についての回想」 (537 words)	設問によっては判断に迷う選択肢が含まれている。 《出典》 Chimamanda Ngozi Adichie, “Why Chimamanda Ngozi Adichie Considers Her Sister a ‘Firm Cushion’ at Her Back”, <i>Vanity Fair</i> , May 2, 2016	標準
4(A)	文法・語法	正誤問題 「ドキュメンタリー映画とは何か」 (614 words)	2016年度と同形式だが、英文の量は増加し、紛らわしい選択肢も散見される。 《出典》 Patricia Aufderheide, <i>Documentary Film: A Very Short Introduction</i>	やや難
4(B)	英文解釈	下線部和訳 「一人になることの大切さ」 (308 words)	it と this の指示内容の訳出が求められている。(イ)は、this が前文の we passed through a magnificent snowy landscape を指していることを把握できたかがポイント。 《出典》 Sherry Turkle, <i>Reclaiming Conversation: The Power of Talk in a Digital Age</i>	標準
5	読解総合	「ノーベル賞作家と私の関係性」 (930 words)	(A)の空所補充問題はやや難しい。(D)の(ア)も取り組みやすいとは言えない。 《出典》 Jenny Diski, “What To Call Her?”, <i>London Review of Books</i> , Oct 9, 2014	標準

注：区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」

難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

- 東大は、設問形式に毎年のように変化があり、2017年度と同形式の設問が来年度も出るとは限らない。よって、過去の多様な形式を踏まえて、さまざまな設問に取り組み、形式の変化に対応できるようにしておく必要がある。東大英語の攻略には全般的に以下のような対策をとっておかなければならない。
- 読解に関しては、設問形式にある程度の変動はあるものの、「文脈把握力」を主に要求している点では、根本的な部分に変わりはない。要求された課題を念頭に置いて、一定以上のスピードで英文を読み解き、必要な情報をまとめる練習が有効である。また、日本語表現能力を高めることも怠ってはならない。
- 作文に関しては、基本的な知識の正確な運用が求められている点は変わらない。今後も形式やレベルの変動があることは予想されるので、多様な形式で練習を積み、添削指導を受ける必要がある。
- リスニングに関しては、過去問を中心に、基本的な聞き取り能力を養い、情報を整理しながら話の展開をつかむように心がけるべきである。また、リスニング力の向上につながるので、書き取りの練習も積んでおくとういだろう。